

# 韓国の大学入試における英語 —NEAT（国家英語能力評価試験）開発と挫折—

京都工芸繊維大学  
教授 山本以和子

# 1. 韓国の社会と入試政策

## 国家戦略

- ・ ハングル vs 漢字圏
- ・ 輸出依存経済(グローバル経済)

## 個人キャリア戦略

- ・ 就職(ソウル市内大学卒業・兵役)
- ・ 入社・昇進(TOFLE, TOEICの活用)
- ・ 失業率と韓国離れ

## :::大学入試:::

- ・ 三不政策 (本考査禁止・高校等級性禁止・寄与入学制禁止)
- ・ スペック判定禁止
- ・ EBS授業

経済力格差と教育格差の連動 (金の匙、銀の匙、泥の匙)



読む・聞く (理解能力) →→→ 書く・話す (意思疎通・表現能力) の育成へ

## NEATの開発

国家英語能力評価試験

(National English Ability Test、NEAT)

## 参考. 韓国の大学入試

	随時募集		定時募集	
定員	77%		23%	
出願日	9月下旬		1月上旬	
合格発表	12月下旬まで		2月上旬まで	
入学手続	12月末		2月中旬	
選考	学生簿教科	42%	修能中心	23%
	学生後総合	25%	実技など	(随時と合わせて 10%)
	論述・実技など	(定時と合わせて 10%)		

出典：韓国大学教育協議会「2021年度大学入試情報119」

修能：最低学力基準（等級）  
として活用

修能：成績を活用して  
合否判定  
(大学個別試験はない)

## 2. NEAT開発の経緯

盧武鉉政権	2006年	<b>英語教育のための革新計画の発表</b> ・国家的英語能力テストの開発と成績証明の構築
	2007年	<b>NEAT開発基本計画を公表</b> ・教育課程沿った4技能の国家的スタンダードを構築 ・NEAT事業の試験開発や施行、管理等の部分を韓国教育課程評価院が担う
李明博政権	2008年	<b>大統領選挙公約</b> ・実用的英語スキルを重視した新しい国家英語能力試験を導入の表明 <b>政権引継ぎ委員会</b> ・韓国型TOFLE(高校用2.3級と成人用1級)を開発して大学修能試験(2013)代替発表 ・予算393億ウォン(2008-2012)
	2010年	<b>教育科学技術部「2013年度随時募集において活用」発表</b>
	2009~ 2011年	<b>フィールドテスト・ヒヤリング実施</b> ・7回のフィールドテストを実施。最大規模は、169校20000名対象

- ※ 韓国教育課程評価院：教育課程・教授学習、教育評価・教科書検定、初等・中等教育教師任用試験、大学修学能力試験事業等を担う
- ※ 大学修能試験（略称：修能）：韓国の大学入試共通テスト
- ※ 随時募集：修能試験前に出願する募集枠。全体の約7割の定員を占め、第一志望はこの募集枠で受験するのが通例
- ※ 教育科学技術部：わが国の文部科学省にあたる

### 3. NEATの内容

#### ◆ NEATのゴールと開発方針

ゴール：

1. 学生が学校教育を通して基本的なコミュニケーションスキルを獲得する
2. 学生は、適性や将来のキャリアに応じてNEATレベル2もしくは3を選択する

レベル2＝基礎的なアカデミック英語

レベル3＝実用英語

開発方針：

1. ナショナルカリキュラムとNEATのコンテンツをそろえ、学校教育を再構成
2. NEATと関連付けた評価や指導の開発を中心とした教員訓練プログラムを供給

#### ◆ NEATと大学修能試験(CSAT)との比較

	CSAT	NEAT
Skill Assessed	Listening, Reading	Listening, Reading, Speaking, Writing
Item Type	Multiple Choice	Listening, Reading: Multiple Choice Speaking, Writing: Performance Assessment
Scoring	Norm-Referenced	Criterion-Referenced
Score Report	1-9 Stanine Score Standard Score Percentile Score	Achievement Standards: Excellent, Average, Basic, Below Basic
Implementation	Paper & Pencil One opportunity for each student	Internet-Based (VDI) Two opportunities for each student
Test Paper	One	Level 2(Academic) Level 3(Practical) (Students can choose)

出典 ジン・キョンエ(2011)「国家英語能力テスト (NEAT)」韓国教育評価院

### 3. NEATの内容

#### ◆ NEAT 各レベルの開発計画

	Level 2	Level 3
目的	大学に必要な必須英語力	基本的かつ実践的英語能力
内容	文法事項なし コミュニケーションスキルに 焦点 基本的アカデミック英語に関 するトピックス	文法事項なし コミュニケーションスキルに 焦点 日常生活およびビジネスでの 実用英語に関するトピックス
単語数	3000ワード	2000ワード
カリキュラム 連動	英語Ⅰ・Ⅱ、英語読解&ライ ティング、上級英語会話	一般英語、実用英会話

領域	ヒヤリング	リーディング	スピーキング	ライティング
等級	A	B	C	F

F：等級付与ができないレベル

## 4. NEATの規模

実施規模：120万人対象

24のテスト・フォーム

(生徒個人には2回の受験機会。同テストを5万人が受験)

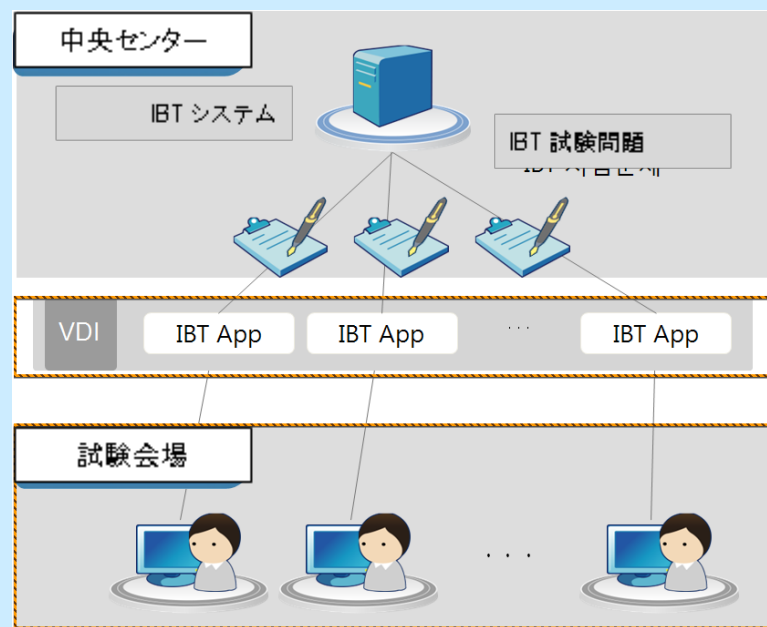
全国約1800か所のIBTテストセンターを設置

作問・採点：5000人の中学校・高校教員

### ◇テストセンター◇

中央センター：韓国教育課程評価院に設置

仁川99、ソウル303、京畿411、  
江原道50、忠南66、忠北53、  
太田57、全北66、全南6、光州58、  
慶州84、大邱95、蔚山47、  
釜山303、慶南116に設置



## 5. NEAT廃止の経緯

李明博政権	2012年	教育科学技術部「修能代替延期」発表 ・2013年度試験から施行。7大学利用
	2013年	6月 試験で大量の電算ミスが発生 ・その他にも、答案画面が突然消えるようなエラーも発生。 ・事後、教育部は報告漏れ、規定違反など責任を問い、関係者処分へ。 8月 教育部「大学入試制度簡素化方案」公表 ・修能試験「英語」からNEAT代替はなしと公表 10月 監査院指摘 ・事業妥当性を考慮せず、政府が推進、不要に国庫が支援
朴槿恵政権	2014年	国家英語能力試験NEAT 一部廃止。来年度試験計画なし ・高等学校NEAT2・3級廃止、1級4回実施 ・14年度入試では25大学利用だったが、ソウル主要大学は弁別性がないことを理由に 利用参加なし。また、就職・昇進試験活用の企業もなし。
	2015年	国家英語能力試験NEAT 廃止 ・修能からNEATの代替計画は全面キャンセル ・1級も廃止



## 6. NEATの課題とその後

### ◆ 課題

1. SPEAKINGとWRITINGの指導
2. 英語理解能力育成→英語表現能力育成への転換
3. 英語教師の業務量・人事考課
4. I B Tシステムのトラブルの可能性
5. システム運用費用の負担（有料試験化）
6. 対策型英語塾の急増（保護者の経済的負担増）
7. インフラ整備（関係者理解・共感の形成・学校現場の準備等）なく、  
政府が拙速導入



### ◆ その後

- ・ 文法的な学習だけ→意思疎通可能な英語力も必要という認識拡大
- ・ 学校でも、学習のプロセス評価の重要度が高くなった
- ・ とはいえ、英語は、学校外教育費用は増加



修能英語 絶対評価へ

ご清聴ありがとうございました。



京都工芸繊維大学  
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

山本 以和子  
ewhay@kit.ac.jp